学校教育田におけるスマート農業技術の導入・実践支援事業

1．令和7年度実績額　　209 千円

2．成果・効果

スマート農業技術を活用した最先端の農業生産を児童に体験してもらうことで、本市の基幹産業である農業（稲作）の最新の姿を伝え、将来の選択肢の 1 つとして「農業」が位置づけられることが期待できる。

数値的な指標	R4	R5	R6	R7
取組小学校数	7	8	11	11

【現況・傾向など】

令和 3 年度から本市においても GIGA スクールが本格的に開始され、スマート農業技術に必要なインターネット環境の整備が進んできた。

スマート農業技術を活用することで、田植えや稲刈りだけでなく水管理なども児童が中心となって行うことが可能となり、実際の農業生産に近いプロセスを 1 年かけて継続的に体験することで農業に対する認識が明確化するなどの成果が見られた。

3．今後の方針

これまでの取組により取組校の累計が50校となった。本事業は令和7年度で終了するが、農業の魅力を発信し、新規就農につながる取組を継続して行っていく。



